

**1. 基本情報**

- (1) 国名：フィリピン共和国
- (2) プロジェクトサイト／ミンダナオ島東ミサミス州，ブキドノン州
- (3) 案件名：中央ミンダナオ高規格道路整備計画（カガヤン・デ・オローマライバライ区間）（Central Mindanao High Standard Highway Construction Project（Cagayan de Oro-Malaybalay Section））
- (4) 計画の要約：本計画は、ミンダナオ島の主要都市であるカガヤン・デ・オロ市とダバオ市を結ぶ中央ミンダナオ高規格道路のうち、カガヤン・デ・オロ市－マライバライ市区間を整備することにより、道路インフラの走行性の改善を図り、もって両都市の連結性強化及び周辺地域の経済活性化に寄与することを目的とする。

**2. 計画の背景と必要性****(1) 本計画を実施する外交的意義**

対フィリピン共和国（以下「フィリピン」という。）国別開発協力方針（2018年4月）及び日フィリピン首脳会談共同声明（2017年10月）において、日本政府は、ミンダナオにおける和平プロセスに呼応し、同島の平和と開発に貢献する方針を掲げている。また、質の高いインフラ整備を通じた地方都市の交通ネットワーク整備への支援も、重点的な協力分野と位置づけており、本計画は、これら我が国の基本政策と整合的である。

高規格道路マスタープランの策定に向けた日比協力については、日フィリピン経済協力インフラ合同委員会（直近は2019年12月）においても議論され、本計画を優先的に進めることについて両国ハイレベルで確認している。

**(2) 当該国のミンダナオ島における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け**

ミンダナオ島はフィリピン共和国南部の面積約10.2万km<sup>2</sup>、人口約2,400万人（2015年フィリピン人口統計）の島である。同島においては、南西部におけるイスラム系反政府グループと政府軍の長年の紛争の影響により、道路インフラを含む開発が立ち遅れており、貧困率も全国平均21.6%に比べ、36.2%（2015年）と高い。他方、近年では2014年のフィリピン政府及びモロ・イスラム解放戦線（MILF）間の包括和平合意に基づき、2019年2月にはバンサモロ暫定自治政府が発足するなど、和平プロセスの着実な進展と、それに伴う農業や鉱物産業を中心とする本格的な経済開発への期待が高まっている。

フィリピン政府は「フィリピン開発計画（2017～2022年）」において、ミンダナオ島の主要都市であるカガヤン・デ・オロ市（人口約68万人：2015年）及びダバオ市（人口約163万人：同）の両市を「メトロポリタンセンター」に位置付けている。同計画では、メトロポリタンセンターを拠点とし、都市間及び都市部と地方部の連結性を高めることが、物流や人の移動、サービスや雇用へのアクセスを向上し、同国の包括的成長を実現する上で重要であるとしている。特に道路セクターは当国の旅客輸送の約9割、貨物輸送の約5割を担っており、経済成長に不可欠であるが、両都市間を結ぶ現道には多くの課題があり、周辺地域も含めた経済発展の阻害要因となっている。とりわけ、カガヤン・デ・オロ市とマライバラ

イ市（人口約 17 万人）間の現道には、急カーブの連なるつづら折り区間が存在し事故が頻発している他、急勾配区間での大型車の低速走行が常態化し、パイナップル等の農産物の効率的な物流に支障をきたす等、課題が多い。

中央ミンダナオ高規格道路整備計画（カガヤン・デ・オローマライバライ区間）（以下、「本計画」という。）は、カガヤン・デ・オロ市とダバオ市を結ぶ計画である中央ミンダナオ高規格道路のうち、特に技術的な難度の高い区間の整備を通じて、両都市間の連結性強化及び周辺地域の経済活性化を目指すものであり、JICA にて実施中の高規格道路網マスタープランプロジェクト（フェーズ 2）（2019 年 2 月～2020 年 9 月（予定））において、短期的に整備すべき優先事業として提案されている他、「フィリピン開発計画（2017～2022 年）」に合致するものである。

### 3. 計画概要

\* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

- (ア) 土木工事（ループ橋、長大橋を含む道路（約 65km））（国際競争入札）
- (イ) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、維持管理能力向上支援等）（ショートリスト方式）

##### ② 期待される開発効果

対象区間における走行性・安全性の改善により、対象地域の物流改善及び周辺地域の経済発展促進への貢献が期待される。この計画の実施により、対象区間における所要時間の短縮（約 90 分→約 50 分）、平均日交通量の増加（8,080 台→16,900 台（2040 年の参考予測値））が見込まれる。

##### ③ 借入人：フィリピン共和国政府（Government of the Republic of the Philippines）

##### ④ 計画実施機関／実施体制：公共事業道路省（Department of Public Works and Highways：DPWH）、他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認。

##### ⑤ 運営／維持管理体制：DPWH の地域事務局または地方事務所が管理予定。詳細は協力準備調査にて確認。

#### (2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：A
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 本邦技術の活用：現地の治安情勢及び本邦技術の活用可能性を踏まえ、本計画の一部区間（カガヤン・デ・オロ市内区間約 16 km を想定）にて STEP 案件化を想定し、高橋脚施工、塗装周期延長鋼、免震支承等の本邦技術導入／活用を見込んでいる。STEP 対象以外の区間については他ドナーとの協調融資等を検討する。
- 他の援助機関の対応：アジア開発銀行は、貧困率の高いミンダナオ島、ビサヤ諸島において、地方成長回廊の連結性強化を通じた地方経済開発を実施する方針の下、ミンダナオ島ザンボアンガ半島にて道路整備を実施中。

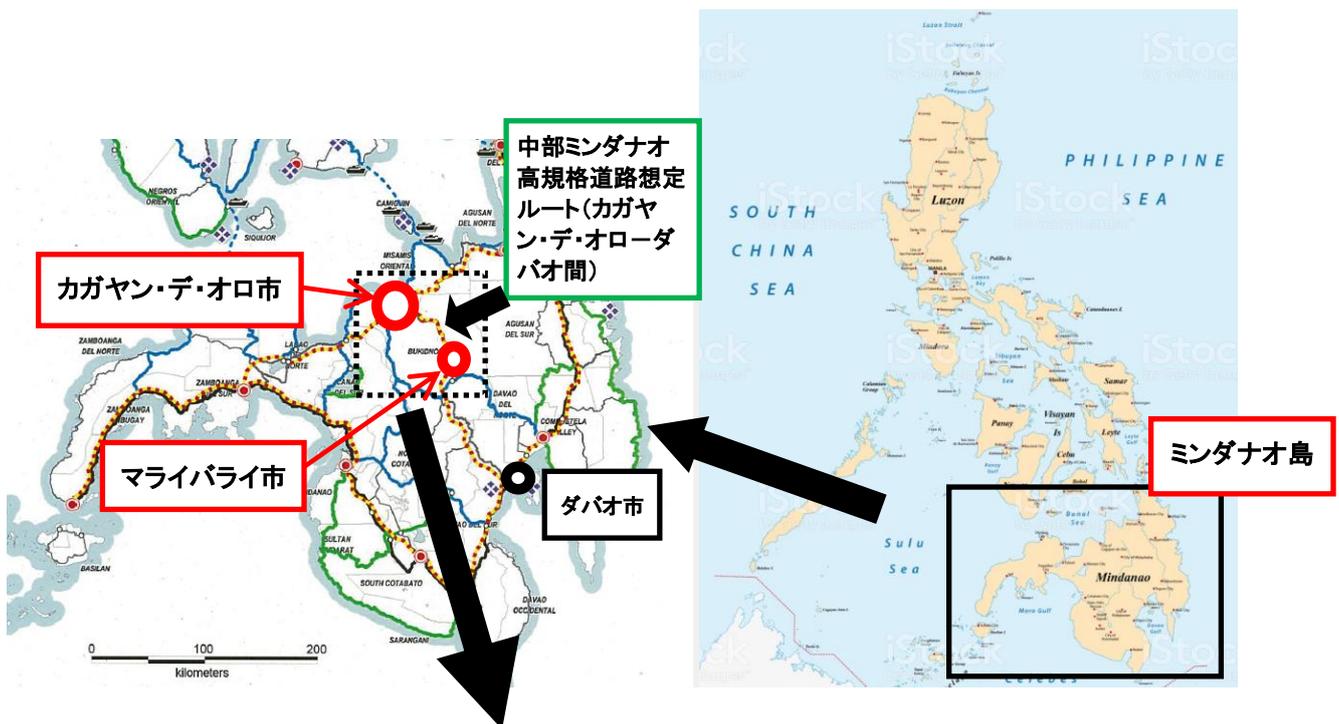
### 4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

当国向け円借款「地方開発緊急橋梁建設計画」（評価年度：2013 年）の事後評価結果等において、維持管理に必要な重機の老朽化が適切な維持管理の上での障害になっているとの指摘がある。上記を踏まえ、本計画で建設される高橋脚橋梁等の適切な維持管理のため、地域・

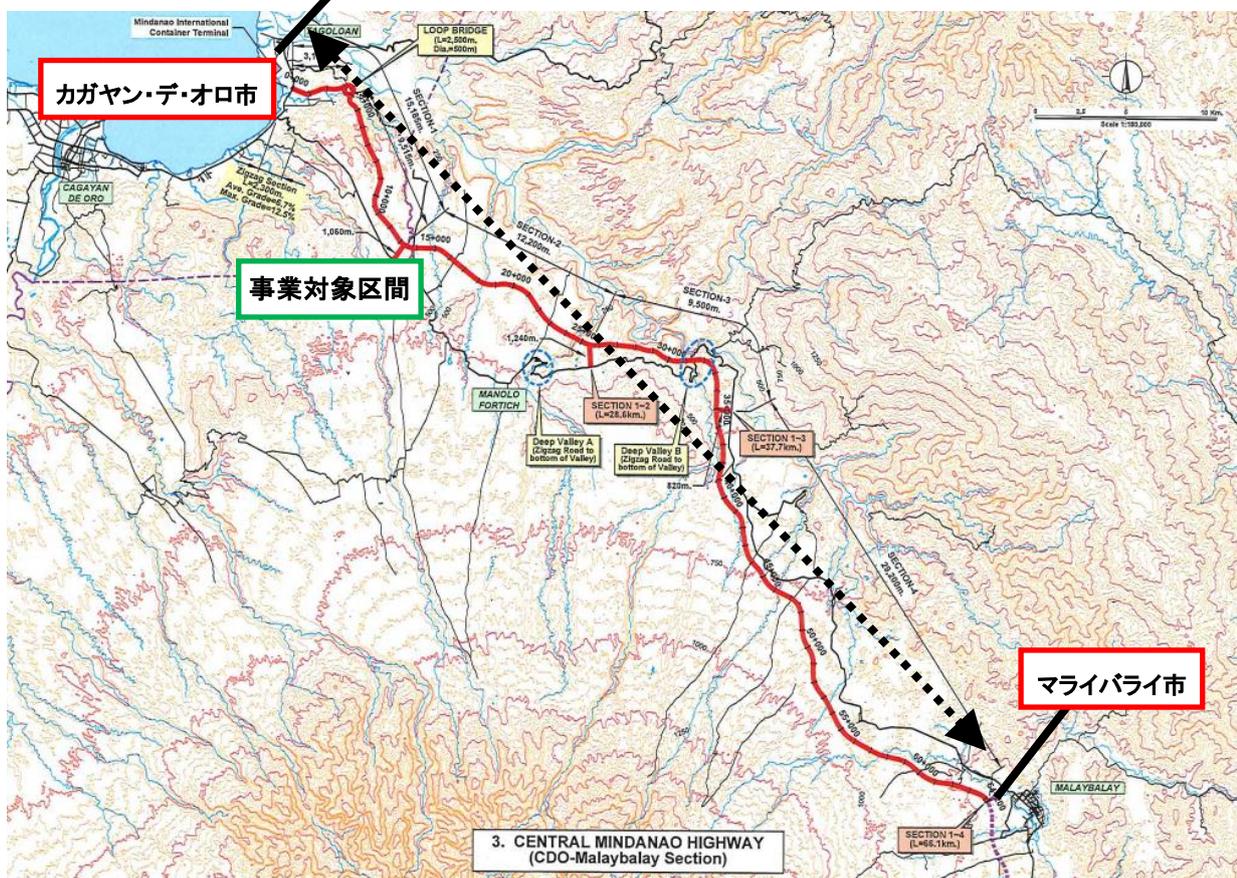
地方事務所を含む実施機関の能力や必要機材の状況については十分に調査し、必要な支援を検討する。

以 上

中央ミンダナオ高規格道路整備計画（カガヤン・デ・オローマライバライ区間）別添1  
地図



別添 2



地図出典：高規格道路網開発マスタープランプロジェクト（フェーズ2）調査団資料を基に作成

中央ミンダナオ高規格道路整備計画（カガヤン・デ・オローマライバライ区間）写真



急勾配・急カーブにより低速走行が常態化する既存道路



本計画対象地域周辺のパイナップル農園

